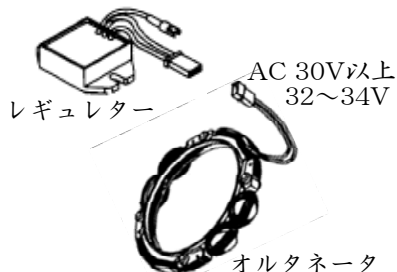


バッテリーあがい。

充電しても数日後に充電が必要になる場合。

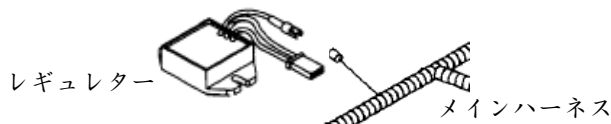
- ① バッテリー電圧測定
- ② エンジンをかけ、オルタネータからの出力電圧測定。



エンジン回転は3,600rpm(フルスロットル)
レギュレタの2Pのカップラーを外し、オルタネータからの出力電圧を測定
⇒交流30V以上(32V~34V)
測定が終わったら2Pのカップラーを元に戻す。

- ③ レギュレーターからの出力電圧を測定

レギュレーターから出ている配線で1Pの赤いカップラーのついた配線をカップラーから外す。
赤いカップラーの配線の端子と本体のハーネス側の端子との間で電圧を測定する。
⇒直流11V~14V、電圧は徐々に上がっていく。14Vでレギュレーターのカットアウトが作動しきる。
注意: バッテリーが放電していると、この電圧はできません。充電されているバッテリーで測定する。



- ④ その他 レギュレーターの良否判定

レギュレーターから出ている3本の配線はレギュレーターのボディー(アルミ製)との間で導通があったらダメ
ただし、レギュレーターがきちんとアース(接地)されていること(要注意: セルモーター側のスターターストラップで接地)

- ⑤ 確認作業

オルタネータ、レギュレーター、ハーネスすべてを結び、バッテリー端子で電圧を測定する。
電圧が徐々に上昇し、14Vまで上がったところで止まれば、レギュレーターのカットアウトが正常に働いていると判断。

注意: レギュレーターは本体に確実に取り付けられている状態(ボディーアースが確実)で上記の測定をすること

ボディーアースに関しては、レギュレーターが取り付けられているセルモーターにスターターストラップ(幅15mm×長さ100mmくらいの鉄板)が装着されていること確認